

直前期に覚えた方がいいもの # 3 R01.11.12

11/16 超直前SP

日商簿記超直前SP (2019.0223)
2,334 回視聴・2019/02/23 にライブ配信

13 2 共有 保存 ...

次の動画 自動再生

#31 日商簿記2級・1級、全経簿記上級ライブ講義

11/17 お疲れ様会

日商簿記2級

19/2/24
151回 2級総評/お疲れ様会

第151回 日商簿記2級総評&
お疲れ様会 (2019.02.24)

2.1万 回視聴・8か月前

★税効果会計 早解講座

試験前なので・・・理屈はともかく・・・

減価償却超過額・貸倒引当金繰入超過額（損金不算入）

課税所得の算定には受取配当金の益金不算入・交際費の損金不算入は関係あり

でも、税効果会計は一時差異のみ（BS 関連の科目と考えよう）

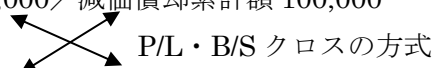
現金で支払ったものは関係ない

減価償却費（200,000 円なのに、300,000 円しちゃった。損金不算入が 100,000 円ある）

税率が 30%である

< 不算入部分の仕訳 >

減価償却費 100,000 / 減価償却累計額 100,000

 P/L・B/S クロスの方式

繰延税金資産 30,000 / 法人税調整額 30,000

< P / L の表記はこうなります >

売上 500,000

減価償却費 300,000

税引前利益 200,000

法人税 90,000

法人税調整額 △30,000

税引後利益 140,000

★決算整理後試算表（後 T/B）

仕訳→元帳→前 T/B→決算整理→後 T/B→損益振替→利益振替

∴前 T/B から後 T/B の問題出たら・・・繰越利益剰余金は転記するだけ

★有価証券の期末評価（目的毎に評価する）2 級範囲の説明

目的	勘定科目	評価額	評価差額
短期的利益の獲得	売買目的有価証券	時価	PL：営業外
満期まで保有が目的	満期保有目的債権	取得原価 Or 償却原価	なし
支配などが目的	関係会社株式	取得原価	なし
上記以外の目的	その他有価証券	時価	BS：純資産 洗い替え 税効果

※その他有価証券の税効果は法人税調整額でない

（P L科目出てこないのでクロスの法則の法人税調整額は対象外）

★材料の追加投入

イチゴショートでいきましょう→色々考えるとまぎらわしい

BOXの工夫→通過したもの（投入を通過した月初・月末・完成品）ならBOXに書く

<例題>

次の資料から、平均法により材料関連の月末仕掛品と完成品総合原価を計算しなさい
 スポンジケーキは工程の始点、イチゴは工程の終点で、生クリームは平均的に投入されている。なお端数が出る場合は小数点1位を四捨五入しなさい。

<資料>

1.生産データ

月初仕掛品	200 個 (20%)
<u>当月投入</u>	<u>800 個</u>
合計	1,000 個
<u>月末仕掛品</u>	<u>100 個 (40%)</u>
完成品	900 個

2 原価データ

	スポンジ	イチゴ	生クリーム
月初仕掛品	40,000		36,000
当月投入	168,000	90,000	152,000

<スポンジ：始点投入> 月初→通過 月末→通過 完成品→常に通過

40,000	200	900	187,200
168,000	800	100	20,800

<生クリーム>これは加工費と同じ

40,000	40	900	180,000
148,000	900	40	8,000

<イチゴ>月初・月末（通過していない⇨乗ってるわけではない）

0	0	800	90,000
90,000	800	0	

★仕損品に評価額がある場合の処理

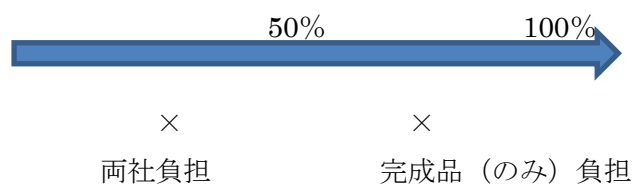
完成品負担は完成品から引けばいい

両社負担は両社から引く→面倒なので按分する前に引く

<仕損の復習>

完成品がどの程度負担するのかを計算したい

「通過したら負担してね」



月末君と完成品君は仕損君の誕生日におごるのか？

君は居酒屋のレジでバイトしたことはあるか？

仕損品評価額がある場合の処理①

次の資料にもとづいて、平均法により、月末仕掛品原価、完成品総合原価を計算しなさい。
 なお、仕損品の評価額は@10 円であり、これは主に直接材料の価値である。

<問題>

[資料]

月初仕掛品	20	(50%)
当月投入	<u>150</u>	
合計	170	
正常仕損品	10	
月末仕掛品	<u>60</u>	(50%)
完成品	<u>100</u>	

() 内の数値は加工進捗度を示す。

材料はすべて工程の始点で投入されている。

仕損は工程の終点で発生したもので、すべて正常仕損である。

	直接材料	加工費
月初仕掛品	8,000 円	1,000 円
当月投入	59,830 円	12,720 円

8,000	20 (10)	100	[39,900 (9,800) △@10×10 3,990 (980) 23,940 (2,940)
(1,000)			
59,830	150	10(10)	
(12,720)		60 (30)	

月末仕掛品原価	54,570
完成品総合原価	26,880

仕損品評価額がある場合の処理②

次の資料にもとづいて、平均法により、月末仕掛品原価、完成品総合原価、完成品単位原価を計算しなさい。なお、仕損品の評価額は 200 円であり、これは主に直接材料の価値のため、当月投入の直接材料費から控除する。

<問題>

[資料]

月初仕掛品	20	(50%)
当月投入	<u>150</u>	
合計	170	
正常仕損品	10	
月末仕掛品	<u>60</u>	(50%)
完成品	<u>100</u>	

() 内の数値は加工進捗度を示す。

材料はすべて工程の始点で投入されている。

仕損は工程の始点で発生したもので、すべて正常仕損である。

	直接材料	加工費
月初仕掛品	8,370 円	1,000 円
当月投入	59,830 円	12,650 円

8,370 (1,000)	20 (10)	100	42,500 (10,500)
59,830 △200	150	10(0)	
(12,650)		60 (30)	25,500 (3,150)

月末仕掛品原価	53,000
完成品総合原価	28,650

★お得なお知らせ★

前2回の「直前に覚えた方がいい講座」特別販売

WEB講座・視聴期限令和2年2月23日（154回試験当日）まで

各600円・セット価格1,000円

#1 <151直前1>30分

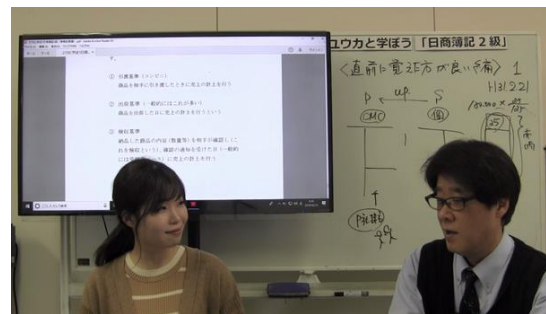
売上割戻引当金

返品調整引当金

連結アップストリーム

売上の計上基準

有価証券税効果の株主資本等変動計算書



#2 <152直前2>54分

連結仕訳対策→開始仕訳・未実現利益

標準の差異分析→三分法・四分法

直接原価計算の固定費調整（全直末首）

固定予算

